

2020年度 北陸4大学連携

まちなかセミナー

“デザイン”が社会を豊かに –大学が描く未来のかたち–

急速な変化のさなかにある現代社会において、“デザイン”的可能性に注目が集まっています。

“デザイン”と聞くと主にアートやファッショング、浮かびますが、商品や街並みの設計、「人と人」「人とモノ」の関係性の構築など、企業経営や行政でも活用され、よりよい社会をつくり出す原動力となっています。

本セミナーでは、社会科学から工学まで幅広い分野の研究事例を紹介し、受講者の皆さんと共にこれからの未来の姿を“デザイン”します。

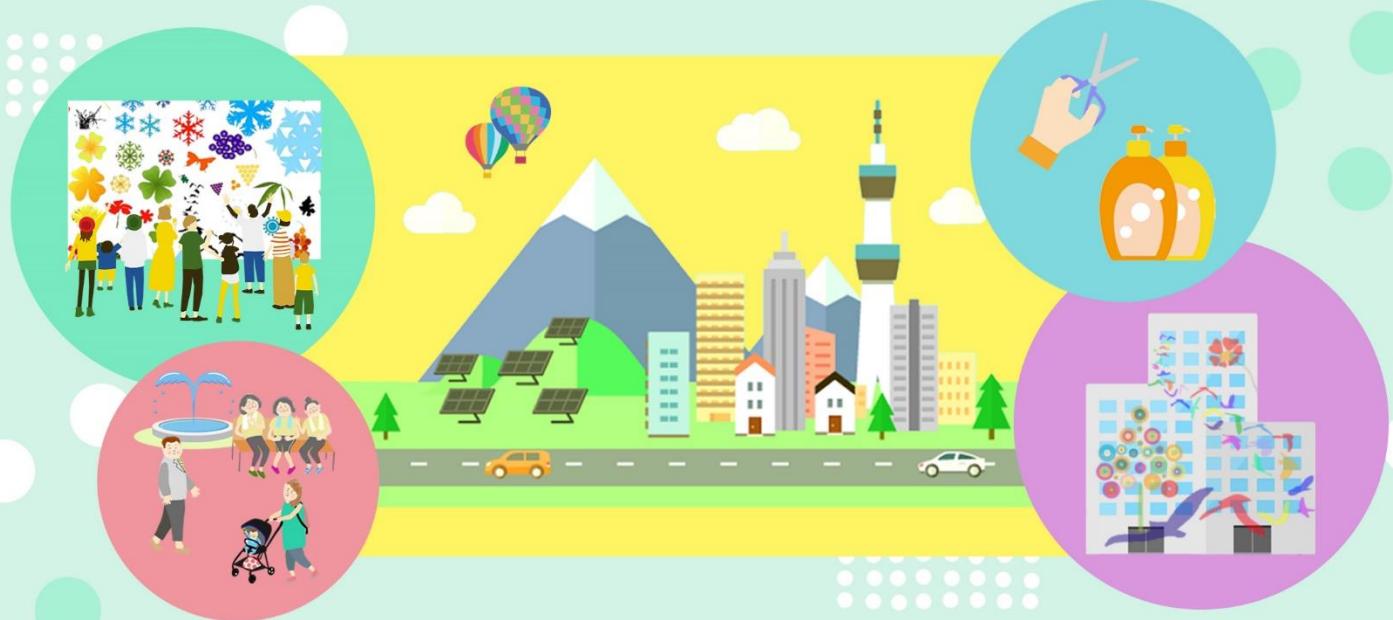
【金沢会場】定員：50名（先着）

*入場無料

参加には事前申し込みが必要です。
裏面に記載されているWebフォームから、
またはFAX・お電話でお申し込みください。

2020年
日時
10月24日 土
13:00~16:00

会場
金沢大学角間キャンパス
人間社会第1講義棟101講義室
(石川県金沢市角間町)



12:30~ 受付開始

13:00~ 開会あいさつ

13:10~ 講演1 「ユニバーサルデザイン
:やさしさや思いやりを形に」
〔講師〕矢口 忠憲 教授(富山大学)

13:50~ 講演2 「プロジェクトマッピング技術が
描く新しい未来」
〔講師〕佐藤 俊樹 准教授(北陸先端科学技術大学院大学)

14:30~ 休憩(10分)

14:40~ 講演3 「コミュニティデザイン
:地域の課題解決と市民参加」
〔講師〕丸谷 耕太 助教(金沢大学)

15:20~ 講演4 「福井市美術館を活用した
アートコミュニティの創造」
〔講師〕濱口 由美 教授(福井大学)

2020年度 北陸4大学連携 まちなかセミナー

“デザイン”が社会を豊かに－大学が描く未来のかたち－

2020年

10月24日

13:00

16:00

地域の多様な生涯学習ニーズに応えるべく、北陸地区の4大学（富山大学、北陸先端科学技術大学院大学、福井大学、金沢大学）が連携し、平成15年からまちなかセミナーを開催しています。

今年度の金沢会場は「デザイン」をテーマに、各大学の講師による講演を行い、皆さまの「知」との出会いの場をご提供します。

講演1

「ユニバーサルデザイン ：やさしさや思いやりを形に」

【講師】矢口 忠憲（富山大学 都市デザイン学部 教授）

住民の皆が住みやすい街（安全・安心・豊かな暮らし）を創造するとき、まずは生活の中の気づき・発見から始まります。そのためには、暮らしの些細な現象や人々の言動に対して、本気で「なんで、どうして」をぶつけることが大切になってきます。他者に対するやさしさや思いやりの気持ちを「カタチ」にしていく先に、皆が平等で暮らしやすい社会が見えてくるのだと思います。今回はその「気づきの大切さ」をさまざまな視点（事例）から、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講演3

「コミュニティデザイン ：地域の課題解決と市民参加」

【講師】丸谷 耕太（金沢大学 人間社会研究域人間科学系 助教）

都市には大勢の人が住み、さまざまな生活をしています。あるべき都市の形をデザインするには、住民が地域の課題を共有し一緒に未来を創造することが重要です。公園や図書館など、どのような公共空間が望まれているか、そして街全体はどうやっていきたいか。住民が主体となって社会の問題や空間的な問題を同時に解決できるよう、そのプロセスや関わる人々の関係性、そして場所のデザインがコミュニティデザインという仕事です。今回は実践事例を紹介し、参加の皆様と都市のデザインについて考えたいと思います。

お申し込み先

[Webフォーム]

<https://ws.formzu.net/fgen/S41687397/>

または、右記のQRコードからアクセスください。

*申込フォームはフォームズ株式会社のサービスを利用しています。

[E-mail]

event@adm.kanazawa-u.ac.jp

[TEL]

076-264-5288



申し込み締切

2020年10月16日(金)

※メールまたは電話でお申し込みの際は、お名前とご連絡先をお伝えください。
なお、頂いた個人情報は適切に管理し、本シンポジウム運営のために使用します。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、本シンポジウムを延期または中止する場合があります。延期・中止となった場合にはWebサイト等で告知するとともに、申し込み時にご登録いただいたメールアドレスにご連絡いたします。

講演2

「プロジェクトマッピング技術が描く 新しい未来」

【講師】佐藤 俊樹（北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授）

「プロジェクトマッピング」と聞けば、大きな建物にプロジェクタで映像を投影するアート作品を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかしプロジェクトマッピングは、コンピュータの中にある「サイバー空間」と、私たちの住んでいる「実世界」とを直接的に結び付けることができる「未来のディスプレイ技術」としての可能性も持ち合わせています。今回はそのようなプロジェクトマッピング技術についての最新の研究事例について紹介し、その技術が描き出す新しい未来についてお話しします。

講演4

「福井市美術館を活用した アートコミュニティの創造」

【講師】濱口 由美（福井大学 教育学部 教授）

アートを介して地域コミュニティを育むことを目的に立ち上がった「キリグ子ども美術館K-Kamプロジェクト」。プロジェクトの中心メンバーは、キリグーと呼ばれる幅広い年代で構成されるアートコミュニケーターたち。福井市美術館という場の力を借りながら、人と人、人とコトをつなぐ活動を展開していました。しかし、コロナ禍に入りキリグーは多くの活動の場を失います。予想もしていなかった課題と向き合うことになったキリグーの取り組みや姿勢を通して、未来の地域デザインを考えてみたいと思います。

アクセスマップ

金沢大学 角間キャンパス（人間社会第1講義棟101講義室）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

